

# 「自信持ち交流を」

コンコード 町長がエール  
訪問団事前研修

【七飯】町の姉妹都市、米国マサチューセッツ州コンコード町への海外交流研修訪問団が組織され、第一

回事前研修が26日、町役場

で開かれた。中宮二町長

は派遣される中高生を前に

「一歩前へ出る意識で、

自信を持って交流を」とエ

ールを送った。

一行は、10月上旬に約10

日間の旅程で姉妹都市締結

から15年以上の歴史を積み

重ねたコンコード町との交

流を深める。中高生らは、

ホームステイをしながら現

地の高校に通い、授業や部

活動に参加するプログラム

が予定されている。



訪問団の事前研修で抱負を語る生徒

この日は第一回の事前研

修を実施。中宮町長は「15

年間の交流に、さらに歴史

を1年上乗せしていく。皆

さんがしっかり楽しんで

いたればその役割は果

たせる」と中高生を笑顔で

励ました。

出席者は総務課や旅行会

社から旅程の説明を受けた

ほか、自己紹介を行った。

生徒たちは「コンコードで

たくさん交流したい」「今

回行けることがすごく楽し

みなので、よい研修にとた

い」などそれぞれ抱負

を語り、期待に胸を膨らま

せていた。

(森裕次郎)

## 情熱の瞬間

### 新しい出会い胸に

【七飯】「たくさん交流したい」  
一。町の姉妹都市、米国マサチュー  
セッツ州コンコード町へ海外交流研  
修訪問団として派遣が決まり、抱負  
を語る生徒（町役場、7月26日）



【七飯】町の姉妹都市である海外交流研修訪問団の壮行式が26日、町役場で開かれた。訪問団や学校関係者ら約20人が参加し、研修に対する抱負を語った。(柏淵祐二)

## コンコード交流研修訪問団が壮行式



# 「七飯の文化伝えたい」

## 参加者が抱負

海外交流研修への抱負を語る生徒

訪問団は中高生や教員、町民など14人で構成。10月1日から11日までの間、コンコード町などに滞在し、ホームステイをしながら中高生は地元の高校で授業や部活動に参加する。町民代表は農場や消防署の視察のほか、小学校を訪問して日本文化を伝える。

中宮安一町長は「2カ月前の結団式と比べると、皆さんの顔が自信に満ちてきている。コンコード町との友好の絆を今まで以上に深めることが使命。滞在期間を十分に楽しんで」と激励した。

七飯高校2年の五日市紗季さんは「コミュニケーションをたくさんとって少しでも英語に慣れ、七飯町の文化を伝えたい。自分自身

が成長し、将来の視野が広がれば」と意気込み、町民代表の渡会英文さんは「私は僧侶だが、現地の人がそれぞれの宗教をどのように信仰しているのかを学んできた」と決意を語っていた。

その後は、ホストファミリーへのお土産として、中宮町長から「七飯町」の文字の入ったTシャツが一人一人に手渡され、記念撮影も楽しんでいた。

# 情熱の瞬間

## 友好さらに

「姉妹都市コンコード町との絆を深めたい」。海外研修に向けての抱負を語る生徒（七飯町役場、9月26日）



研修内容を発表する七飯高の生徒

【七飯】今年10月に町のド町などでホームステイし、地域の文化に触れた。姉妹都市米國マサチューセツツ州コンコード町へ派遣された海外交流研修団。報告会が17日、町文化センターで開かれた。学校関係者や家族ら約30人が参加し、訪問団員が海外での体験を披露した。

訪問団は中高生や町民など14人で構成。10月1日から11日まで、コンコード町で研修内容を発表。最

七飯高校の五百市紗季さん、木村有伽さん、福永美愛さんが、愛さんの9人がライトを使って研修内容を発表。最

初は緊張で萎縮がなかったが、飛行機からホストの姿が見えた時は感動した。文化の連

いやうとの触れ合いを中心に紹介した。また、「挑戦や諦めないことなど、多くのことを学ぶことができ

## 海外派遣中高生ら報告

# 「諦めないこと学んだ」

これらの経験は自分の身として、一歩成長とするように頑張りたい」と研修を満了した今後の目標も語った。

訪問団メンバーでは海外研修の心機を込めて「思い出について訪問団が回答。初めて海外なので不安だった」「言葉が通じなくても失敗を恐れなかった」「ホストファミリーとの触れ合いが一番の思い出」と振り返っていた。

（前掲紙）

道南ネット